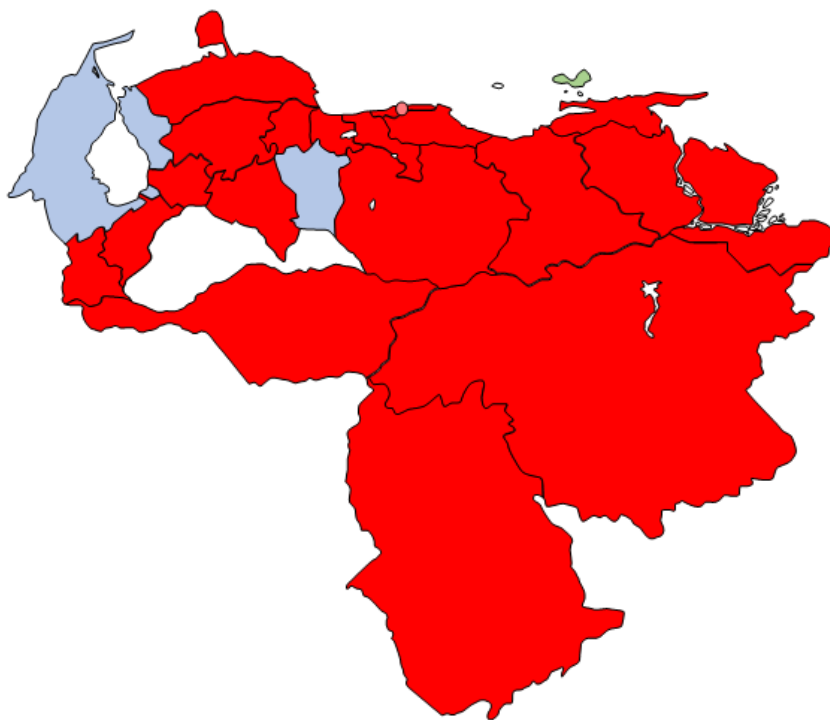


全国州知事選の結果



（写真）筆者作成 “2021年11月 全国州知事選の結果（1州のみ未確定）”

ベネズエラ州知事選の分析

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

1 1月21日 ベネズエラで全国州知事選・市長選が行われた。

今回の選挙は4年ぶりに主要野党が選挙に参加。EU監視団も現地で選挙運営を監視する中で行われた。

今回は、全国州知事選の結果を確認、分析したい。

なお、今回の選挙は規模の大きな選挙なので一度に全てを紹介するのは難しい。加えて、市長選は結果が出ていない場所が多いため、市長選の結果については来週号で紹介したい。

与党候補の圧勝

ベネズエラ州知事選の結果は表紙写真の通り。第1速報の時点で「全国23州中20州は与党候補が当選、3州は野党候補が当選」と発表されたが、当時の時点では確定情報ではなかった。

筆者も発表を聞いていたが、「選挙管理委員会（CNE）」のカルサディージャ代表は今回が初めての選挙結果発表。発表に慣れておらず、誤解を生む説明になってしまったと思われる。

現時点では全国23州中、19州は与党候補が当選、3州は野党候補が当選、1州（バリナス州）だけ当選者が確定していない（各州の当選者は4～5ページのリストを参照）。

野党 統一候補を擁立すれば13州で勝利

このレポートを作成している時点で「選挙管理委員会（CNE）」は開票率99.2%まで開票を済ませたようだが、CNEのウェブサイトがダウンしており、直近の情報が確認できない。

そのため、第1速報の90.2%時点のデータを基に今回の州知事選について紹介したい。

今回の選挙の有権者数は約2,115.9万人。

ただし、外国に移住したが住民登録を変えていない人が数百万単位にいると思われ、実際の有権者は2,000万人もないことが予想される。

CNEの発表によると、投票率は42.26%（第1速報では41.8%だったが、その後修正）。

無効票などを除くと以下のような投票内訳になる。

表：ベネズエラの選挙集計結果（第1速報）

グループ	得票数	割合
与党	3,940,335	46.1%
野党	4,414,874	51.7%
MUD	1,868,225	21.9%
独立野党	1,414,368	16.6%
穏健野党	1,132,281	13.3%
その他	186,602	2.2%
独立与党	171,351	2.0%
その他	15,251	0.2%
合計	8,541,811	100.0%

この結果を見る限り、与党に投票したのは約394万人で投票者全体の46.1%だった。なお、有権者2115.9万人のうちの18.62%だったことになる。

世論調査では、与党支持者は全体の2割弱で、彼らの投票意欲は概して高い。

与党支持者の多くが投票に参加し、且つ無党派層の一部が与党候補に投票した場合、394万票は十分に取れそうな票数だろう。

一方、野党グループに投票したのは約441.5万人で投票者全体の51.7%。与党の得票数を超えている。

ただし、野党グループは3つに分かれている。

1つ目は、マドゥロ政権と強く対峙する「第一正義党（PJ）」「行動民主党（AD）」「新時代党（UNT）」「大衆意思党（VP）」を中心に構成される伝統的な野党グループ「野党統一連合（MUD）」。

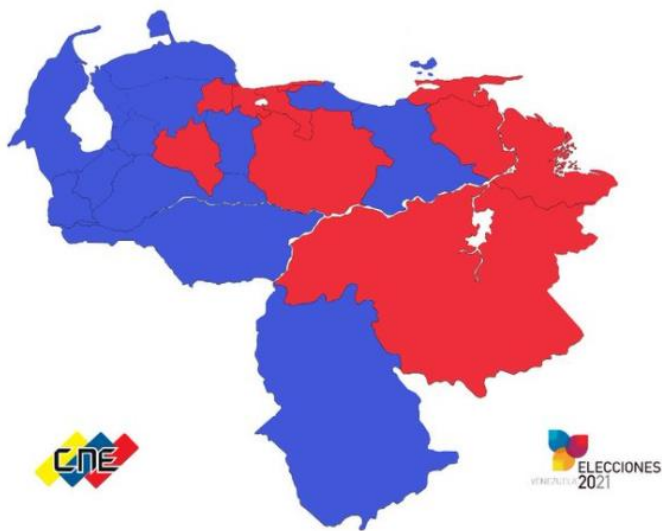
2つ目は、「隣人の力（FV）」など、反マドゥロ政権的なスタンスだが、極力政治的な対立を避け、行政運営に注力する独立野党。

3つ目は、「発展進歩党（AP）」など、マドゥロ政権の正当性を認識し、2018年5月の大統領選、20年の国会議員選などにも積極的に参加した穏健野党。

441.5万票はこれら3グループの票を足し合わせた合計だ。

各グループの得票率は、MUD が 21.9%、独立野党は 16.6%、穏健野党は 13.3%とそれなりに均等に分かれている。

仮にこの3つのグループが統一候補を擁立することに成功し、彼らの票が1人に集まったとすれば、今回の州知事選の結果は以下のようになったという。



具体的には、タチラ州、メリダ州、バリナス州、ファルコン州、ララ州、コヘーデス州、アプレ州、アマゾナス州、アンソアテギ州、ミランダ州の10州も野党候補が当選し、当選済みのスリア州、ヌエバエスパルタ州、トゥルヒージョ州と併せて13州で勝つことが出来た。

主要野党が本気で選挙を通じて政権交代を目指す方向で団結していれば、今回の結果は避けることが出来ただろう。

今回の選挙が、主要野党にこれまでの方針の限界に気付く機会になることを願っている。

野党の多様化

もう1点、特筆に値することがある。それは野党の多様化だ。

前述の通り、野党グループは大きく分けて3つ存在するが、やや主要野党（MUD）の得票数が多い程度で各グループの得票数に大きな差はない。

2017年10月の州知事選の結果は「[ウィークリーレポート No.16](#)」を参照されたいが、17年当時は、「野党候補といえば MUD の一択」だった。

しかし、それから4年間、主要野党が選挙をボイコットしたことで、野党が多様化していることが分かる。

実際に州知事選でも当選が確定した野党3人のうち2人が MUD、1人が FV の候補だった。次のウィークリーレポートで紹介するが、市長選でも独立野党、穏健野党グループの躍進が確認できる。

欧米諸国（特に欧州）は、主要野党だけが反マドゥロ政権グループではないことを確認したのではないかな。

選挙翌日の11月22日 ホルヘ・ロドリゲス国会議長（与党）は「与野党対話のテーブルに独立野党・穏健野党も加えるべきだ」との見解を表明した。今回の結果を踏まえれば妥当な提案だろう。

仮に穏健野党・独立野党も交渉に加わるとすれば、主要野党の中でも穏健的な方針を示すカプリレス元ミランダ州知事（PJ 所属）がかじ取りをする可能性が高まりそうだ。

表：ベネズエラ全国州知事・リベルタドール市長選 当選者リスト

州・市	当選者	州・市	当選者	州・市	当選者
氏名	Miguel Rodríguez	氏名	未定	氏名	Lizeta Hernández
1 アマゾンナス州		5 バリナス州		9 デルタアマクロ州	
氏名	Luis José Marcano	氏名	Ángel Marcano	氏名	Víctor Clark
2 アンソアテギ州		6 ボリバル州		10 ファルコン州	
氏名	Eduardo Piñate	氏名	Rafael Lacava	氏名	José Vásquez
3 アプレ州		7 カラボボ州		11 グアリコ州	
氏名	Karina Carpio	氏名	José Alberto Galíndez (PJ)	氏名	Adolfo Pereira
4 アラグア州		8 コヘーデス州		12 ララ州	

表：ベネズエラ全国州知事・リベルタドル市長選 当選者リスト

州・市	当選者
氏名	Jehyson Guzmán
13 メリダ州	
氏名	Héctor Rodríguez
14 ミランダ州	
氏名	Ernesto Luna
15 モナガス州	
氏名	Morel Rodriguez (FV)
16 ニューバエスパルタ州	

州・市	当選者
氏名	Antonio Primitivo Cedeño
17 ポルトゥゲサ州	
氏名	Gilberto Pinto
18 スクレ州	
氏名	Freddy Bernal
19 タチラ州	
氏名	Gerardo Márquez
20 トゥルヒージョ州	

州・市	当選者
氏名	José Alejandro Terán
21 ラグアイラ州 (旧バルガス州)	
氏名	Julio León Heredia
22 ヤラクイ州	
氏名	Manuel Rosales (UNT)
23 スリア州	

※ 赤色は「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」
 ※ 水色は「野党統一連合 (MUD)」
 ※ 緑色は「隣人の力 (FV)」